



環境保護における社会貢献



NTTグループ・エコロジー・コミュニティ・プラザ.....46
ドコモの森・DoCoMoボランティアクラブ.....48

1.NTTグループ・エコロジー・コミュニティ・プラザ

<http://www.ntt.co.jp/kankyo/2000report/6/611.html>

NTTグループ・エコロジー・プログラム21の3本柱のひとつである「環境保護における地域貢献」。このプログラムの一環として、NTT西日本滋賀支店とNTT東日本岩手支店では、地域に密着した環境保護活動の情報発信および交流の場となる「NTTグループ・エコロジー・コミュニティ・プラザ」を設立し、モデル支店として活動を行っています。

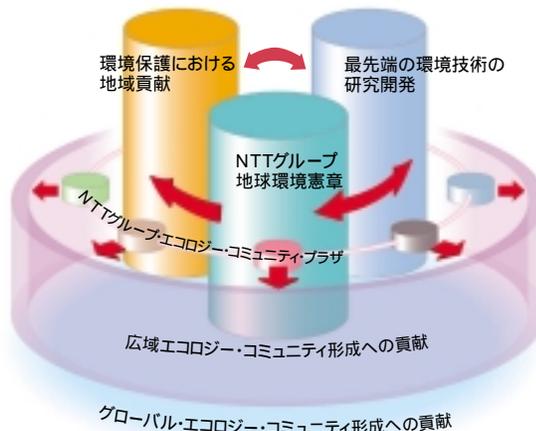


図6.1-1 NTTグループ・エコロジー・プログラム21の三本柱

NTT西日本滋賀支店エコロジー・コミュニティ活動

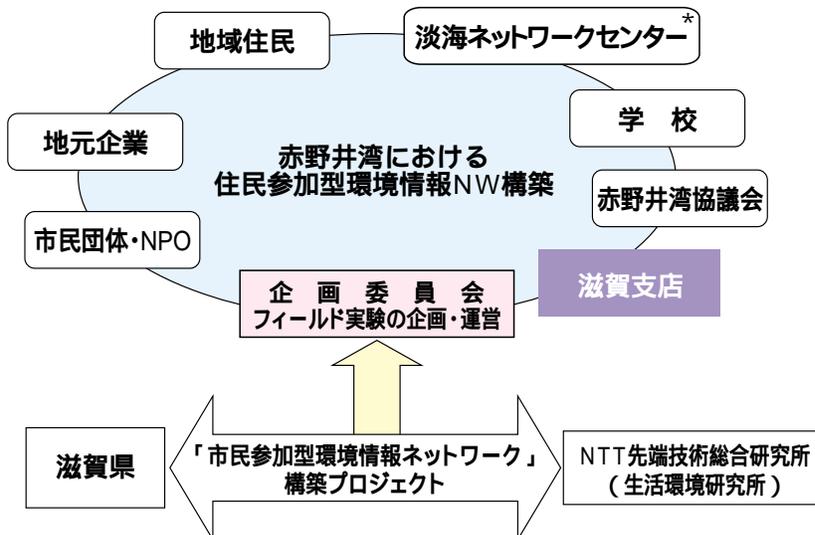
地域密着型の環境保護活動を推進

日本最大の琵琶湖を擁する滋賀県は、環境問題に積極的な自治体として世界に知られています。

NTT西日本滋賀支店では、従来から支店の自主活動である「大津市民ヨシ刈り」を実施しています。ヨシは、全国各地の湖沼、河川の水域、湿地帯に生育する植物です。刈

り取ることにより富栄養化の防止や水質浄化に役立ちますが、全く手付かずであると、腐食し、メタンガスを発生する元となります。また、滋賀県が主催する「環境ビジネスメッセ」(1999年長浜市)への環境技術の出展を行いました。2回目となる「環境ビジネスメッセ」は、「環境産業を創出する“びわ湖からのメッセージ”」をテーマとし、190以上の企業や大学・研究機関が出展する展示会で

す。
滋賀県では2000年にG8環境サミットが開催され、世界に向けた環境情報の発信の場として注目を集めています。
その中で、滋賀支店は地域に密着した環境保護活動をさらに積極的に進めていきます。さらに、2000年からNTT先端技術総合研究所と滋賀県との間で、「市民参加型環境情報ネットワーク」を構築する共同プロジェクトがスタートします。



* 淡海ネットワークセンター
県、市町村の出資により「県民の自主的で営利を目的としない社会的活動を総合的に支援」することを目的に1997年4月設立。(財)淡海文化振興財団が運営。

図6.1-2 NTT西日本滋賀支店の取り組み



1. NTTグループ・エコロジー・コミュニティ・プラザ

NTT東日本岩手支店「イーハトーブ・エコロジー・コミュニティ・プラザ」

<http://eco.iwate.isp.ntt-east.co.jp/>

地域に根ざした様々な環境活動を支援

NTT東日本のモデル支店である岩手支店および岩手県内の5つの営業所では、岩手の自然を次の世代へつなぐため環境保護推進活動の一環として環境教育を積極的に支援しています。また、地域に根ざした環境教育活動・情報発信・交流の場として、ワークスペースを提供し地域のコミュニティ形成を支援しています。

具体的な支援内容

ワークスペースの提供

「こどもエコクラブ」「森林愛護少年団」など環境保全を行っている子供たちのクラブや環境保全活動に取り組む各種団体の活動場所として「イーハトーブ*・エコロジー・コミュニティ・プラザ」を提供します。ここでは、パソコンを使ったTV会議などマルチメディア機器の提供もしており、様々な活動や打ち合わせに活用できます。

*イーハトーブ
宮沢賢治が呼んだドリームランド(夢の国)としての岩手県を指す。

環境教育プログラム実施・運営の支援

環境ネットワーク共同プロジェクト(岩手県・国連大学高等研究所・NTT先端技術総合研究所)によって、環境教育を実施する団体が行う環境教育プログラムの実施および運営を通信設備などの側面から支援します。

環境情報のデータベース化

岩手県内の環境情報をデータベース化し、ホームページで県内外の方へ広く提供していきます。

環境情報収集・発信支援

環境への関心を多くの人に広めるため、環境教育へ取り組む団体の情報発信の活性化を支援します。インターネット教室やホームページ作成教室なども実施しています。

ヒューマン・エコロジー・ネットワークの構築

「イーハトーブ・エコロジー・コミュニティ・プラザ」のスペースやTV会議などの利用を通して、各団体相互の交流を支援します。

また、地域に根ざした環境活動のコーディネーターとなる活動者を育成し、ヒューマン・エコロジー・ネットワークの構築を推進します。

これらの活動に加えて、岩手支店では、将来的には、県内の地域貢献・環境保全に積極的な企業を募り、「イーハトーブ・エコロジー・コミュニティ・プラザ」を中核として、市民団体や学校の環境保護活動を積極的に支援していく予定です。

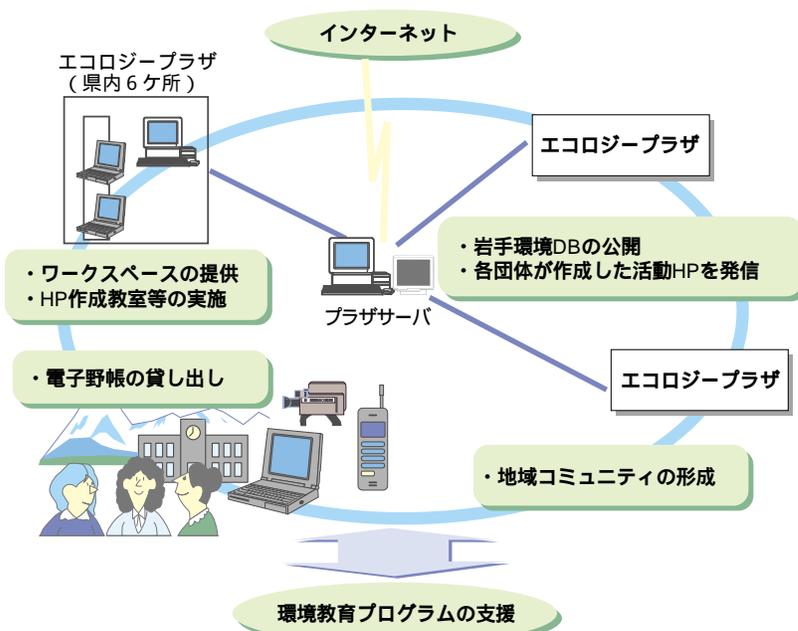


図6.1-3 支援内容

表6.1-1 これまでの主な取り組み内容

実施項目	実施項目
三陸パーチャルダイビング (1999年9月)	海中と県内の学校をインターネット接続、動画配信を活用した双方向での授業にスタッフとして参画(大船渡)
北上川ガバナリーシップin99 (1999年10月)	川下りしながら、リアルタイムでの水質データ収集に、スタッフとして参画(一関)
環境教育フォーラム21 (1999年12月)	環境ホームページの閲覧コーナーを展示するとともに、TV会議とインターネットを用いた公開授業の実施をサポート。
市内環境探検 (2000年3月)	こどもエコクラブなどを対象に、デジタルカメラを貸出し、市内の環境探検を実施。活動報告を子供たちがホームページ形式で作成(盛岡)
環境学習会 (2000年3月)	こどもエコクラブなどを対象に、インターネット教室やインターネットによる環境学習会を実施(釜石)

2.ドコモの森・DoCoMoボランティアクラブ

<http://www.ntt.co.jp/kankyō/2000report/6/621.html>

「ドコモの森」

NTTドコモグループは、1999年から自然環境保護活動の一環として、「ドコモの森」づくり活動を社員から募集し、行っています。これは、郷土樹種の植樹、木の成長を妨げるつるの伐採、混み合った木に日光が良く当たるための除伐、散策道や川に橋をかけるなどの林業体験を行うもので、森林保護を目的としています。

また、この活動は(社団法人)国土緑化推進機構の「緑の募金」制度を通じ、林野庁の「法人の森林」制度などを活用して行うもので、年2ヶ所、5年間で全国9ヶ所の地域(NTTドコモグループ9社の各地域)で推進していく予定です。

「ドコモの森」

www.nttdocomo.co.jp/corporate/mesena/100/mori.html



写真6.2-1 参加者全員で看板を囲んで記念撮影(第1回ドコモの森)

表6.2-1 ドコモの森植樹活動実施状況

第1回	日時	1999年5月15日(土)
	場所	山口県 佐波郡徳地町滑山 国有林
第2回	面積	2.8ヘクタール
	植樹樹種	アカマツ・モミ・ヤマザクラ・オニグルミ・ケヤキ・ブナ・カン 合計250本
	植樹実施者	NTTドコモおよびNTTドコモ中国社員 約45人
第2回	日時	1999年10月23日(土)
	場所	神奈川県 足柄上郡山北町 世附国有林
第2回	面積	2.87ヘクタール
	植樹樹種	ヤマザクラ・ケヤキ・カエデ・ブナ 合計200本
	植樹実施者	NTTドコモ社員 約50人

DoCoMoボランティアクラブ

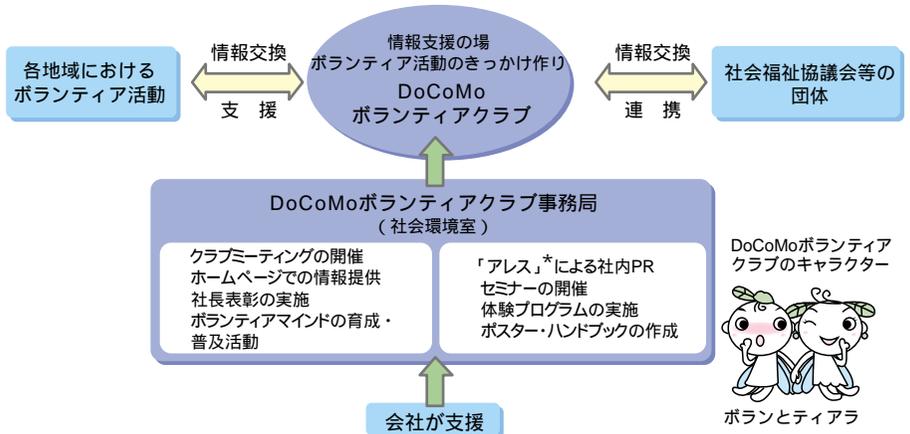
NTTドコモ社員のボランティア活動促進のため、1996年に「DoCoMoボランティアクラブ」を結成しました。このクラブは、「情報交換の場」「未活動社員へのきっかけ作り」「会社の支援」を柱として、ボランティア活動を実施する社員達が、設置したものです。現在はホームページ上での情報交換をはじめ、ボランティアミーティングの開催など多彩な活動を行っています。また社員による環境クリーン作戦や森林ボランティア参加など活動事例をまとめた小冊子の発行、ボランティアを目的とする休暇、社長表彰などの制度を年々充実させています。

基本方針

- 自由参加とし、強制しない
- ボランティアは奉仕ではなく、自分が「幸せになる」ための活動
- 無理のない活動で継続的

活動内容

- ホームページ、電子メールなどによる情報の提供
- ボランティアクラブ・ミーティングの開催
- 体験プログラムの実施
- 地域密着型活動の推進
- ボランティアセミナー・プログラムへの参加



*「アレス」

アレス(alles)はNTTドコモグループの社内定期刊行物(1回/月)で、オランダ語の「みんな」という意味。その名の通り、皆と一緒に創っていくグループ誌を目指し、トピックス・トレンド情報・役員紹介・レポート記事・技術情報・社会貢献(メセナ)などの内容が盛り込まれている。

図6.2-1 ボランティア活動イメージ